

## 平成30年度長野県国民健康保険特別会計の決算見込みについて

## 1 平成30年度歳入歳出決算見込額

歳入 1,868億3,388万4千円

歳出 1,819億2,928万7千円

歳入歳出差引額 49億459万7千円

## 2 決算見込額の内訳

## ◎ 歳入

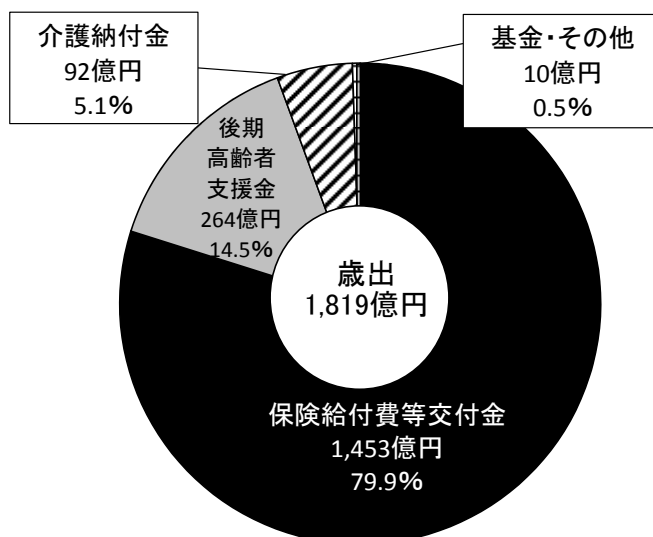
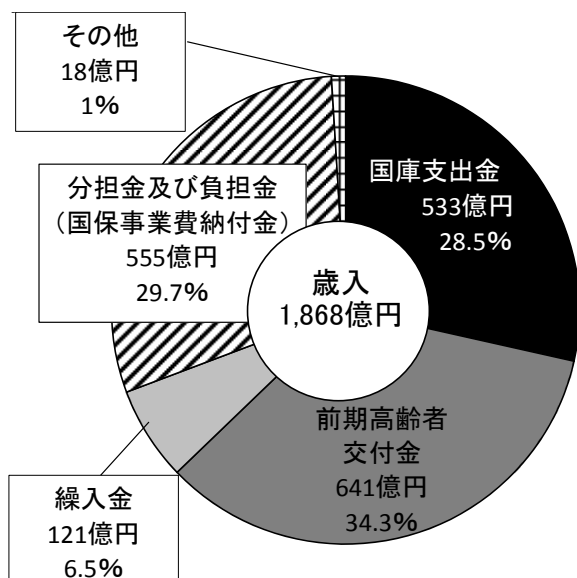
(単位：千円)

項目	予算現額 A	決算(見込)額 B	差額 B-A	備考
国民健康保険事業費納付金	55,571,829	55,547,353	△ 24,476	
国庫支出金	52,396,849	53,270,822	873,973	療養給付費等負担金、調整交付金 高額医療費負担金等
前期高齢者交付金	63,971,105	64,060,808	89,703	
繰入金	12,956,602	12,136,776	△ 819,826	一般会計繰入金、基金繰入金
その他	1,474,534	1,818,125	343,581	特別高額医療費共同事業交付金 療養給付費等交付金等
合計	186,370,919	186,833,884	462,955	

## ◎ 歳出

(単位：千円)

項目	予算現額 A	決算(見込)額	差額 B-A	備考
保険給付費等交付金	148,778,985	145,309,601	△ 3,469,384	普通交付金、特別交付金
介護納付金	9,255,979	9,246,450	△ 9,529	
後期高齢者支援金等	26,481,771	26,439,842	△ 41,929	
基金事業	600,133	600,133	0	基金積立金・貸付金
その他 ※予算額には 予備費含む。	1,254,051	333,261	△ 920,790	特別高額医療費共同事業拠出金 前期高齢者納付金等
合計	186,370,919	181,929,287	△ 4,441,632	



### 3 決算剰余金の使途

#### (1) 県と市町村（幹事会）での決定方針

- まずは公費及び前期交付金の返還額の財源とし、
- それでもなお残る剰余金については、令和2年度の県全体の納付金から減算する。

【参考】…納付金ガイドライン上の納付金の剰余分の取扱いについて

納付金ガイドライン13項では、「過年度の納付金の剰余分については県全体の納付金から減算することができる」とされている。

#### (2) 決算剰余金と公費返還等との関係

